

**Contents**

- 【全体動向】9・13米輸入反対キャンペーン・原州高齢者生活協同組合設立・土壌電子地図完成
- 【韓国生協連合会】自然ドリームベーカリー開業・新潟総合生協から水害義捐金
- 【韓国女性民友会生協】洪城有機米消費拡大・生活材委員の生産地紀行
- 【生協全国連合会】ワーカーズコレティブ懇談会・生協ハム開発
- 【ハンサルリム】ハンサルリムの歴史物語・水曜デモとウリサルキャンペン開催

**【全体動向】**

**9・13、6回目の輸入米反対キャンペーンを開催しました**

今年4月から毎月実施している輸入米反対キャンペーンが、9月13日、ソウルの明洞で開かれました。最後となる今回のキャンペーンでは、12団体から200名余が参加して街頭署名、決議文の朗読、韓国生協連合会仁川生協のイエスル保育園の児童たちのパフォーマンスが披露され、市民の関心を集めました。参加団体は、輸入米の公開入札の中止とウリサル消費拡大政策の樹立、輸入米の不正流通の取締の強化、飲食店食材料の原産地表示制の義務化、輸入米の検疫の徹底、ウリ農業の公共性を否定する韓米FTA協商の中止を政府に求めました。

参加団体：生協全国連合会、韓国女性民友会生協、ウリ農村を生かす運動ソウル本部、全国公務員労働組合、全国教職員労働組合、全国農民会総連盟、韓国カトリック農民会、韓国農業経営人中央連合会、韓国生協連合会、韓国YMCA全国連盟、ハンサルリム、環境農業団体連合会

<http://www.icoop.or.kr/v2/announce/view.php?code=announce&homepage=003&page=1&number=628&keyfield=&key=&no=163&fid=167&thread=A>

**「原州高齢者生活協同組合」が誕生しました**

江原道原州で全国初めて高齢者生活協同組合（理事長孫ビョンソク）が設立されました。9月1日、原州カトリックセンターで開催された設立総会には組合員200名余が出席しました。（組合員443名、出資金3千万ウォン）この生協は60代以上の高齢者の社会活動と仕事作りを目的にして、共済・保険事業、仕事斡旋事業（代行運転、漢字及び韓国語講師、遊園地環境整備）税務相談・保育などの自治体委託事業、いわば「60～80事業」を運営、来年からは産直事業も行う計画です。組合員は、仕事の収入の3～5%を組合へ出演して運営費や組合員の福祉事業に当たります。組合員加入対象は主に65歳以上の高齢者ですが、加入資格の年齢制限はありません。共働きの若い世帯が保育を委託する場合は、その保護者も組合に加入する仕組みです。

<http://www.co-op.or.kr/data/coopnews2.htm?wh=relation&sno=82>

**韓国政府は、世界最初の「土壌電子地図」を完成しました**

韓国農村振興庁・農業科学技術院は、世界最初に「土壌情報ウェブシステム（Agriculture Soil Information System）」を完成しました。この作業は、親環境農業育成法の制定と共に1998年～2005年、8年間推進してきたものです。誰でも自分の農耕地の土壌の性質や作物に合う施肥について知りたければホームページに接続して住所（行政区域名）を入力して検索できます。さ

らに、韓国の代表的な土壌統計 45 種類、作付けの多い 77 作物別の施肥処方、土作りに関する資料室などが整備されており、行政段位別親環境農業政策の推進と科学的親環境営農指導を図るための基盤ができたと言えます。 <http://asis.rda.go.kr/>

【韓国生協連合会 <http://www.icoop.or.kr>】

**高陽一山生協と韓国生協連帯の協同事業、「自然ドリムベーカリー」が開業しました。**

(社)韓国生協連帯(供給高 610 億ウォン、2005 年)の子会社 KOMM と一山生協(組合員 430 名)は、9 月 8 日、新たな協同事業として「自然ドリムベーカリー」パン屋を京畿道高陽市一山区で開業しました。この事業は、(社)韓国生協連帯の PB パンの開発、地域生協のコミュニティビジネス事業及び組合員の仕事場作り、産直農畜産物の消費拡大を狙いに 2005 年から準備を進めてきたものです。韓国生協連合会の会員生協は、商品・物流事業は全て(社)韓国生協連帯に委託し、地域生協は組合員費(会費)によって運営されます。なお、地域生協は、組合員の暮らしの段位、すなわち行政区を越えず、行政区ごと分化していく政策を取っています。ある程度地域に根付いた地域生協は、地域社会のニーズと自分たちの力に合ったコミュニティビジネスを発掘し、新たな事業を展開することを模索してきました。高陽市一山区は、1990 年代の大都市として教育激戦地でもあり、夜 12 時でも塾に通う青少年たちが徘徊するファストフード店が盛んな地域です。「自然ドリムベーカリー」は、無農薬、有機ウリミル、親環境農畜産物、3 日以内の即席製粉に拘り、又イーストフード・乳化剤不使用の自然的な味を追及します。事業計画では初期 70 万ウォン/日の売上げを見込んだのが、毎日 100 万ウォンを突破する好調を見せています。

<http://www.icoop.or.kr/v2/announce/view.php?code=announce&homepage=003&page=1&number=623&keyfield=&key=&no=161&fid=165&thread=A>

**新潟総合生協から 7 月水害生産者への義捐金が贈呈されました。**

韓国生協連合会は 2001 年から新潟総合生協と相互交流を行っていますが、今年 7 月に韓国中部を襲った豪雨で水害を受けた韓国の生産者のために呼びかけた組合員カンパの義捐金 95 万 2,685 円を頂きました。贈呈式は、9 月 21 日、新潟総合生協本部会館で行われ、定期交流に訪れた韓国生協連合会訪日交流団を代表して晋州生協朴仁子理事長が受け取りました。韓国生協連合会と新潟総合生協の定期交流は 6 年目を迎えており、今回の交流では韓国生協連合会から 12 名の組合員活動家・生産者・役職員が新潟を訪れ、総合生協の取り組みやホームステイ、学校給食交流会、JA ささかみの地域循環型農業視察、田んぼの収穫祭参加など盛りたくさんの交流が行われました。2004 年新潟中越地震の時は、新潟総合生協を訪れた交流団からの呼びかけで韓国生協連合会から組合員カンパがありました。

<http://www.icoop.or.kr/v2/announce/view.php?code=announce&homepage=003&page=1&number=638&keyfield=&key=&no=164&fid=168&thread=A>

【韓国女性民友会生協 <http://www.minwoocoop.or.kr>】

**有機米の消費拡大に努めています**

韓国女性民友会生協は、9 月から下半期中洪城プルム生協の新米収買資金 2 億ウォンを募集しています。2 年前までは不足していた洪城地域の有機米は、去年から販売不振となり、産地の洪

城ブルム生協では生産者からの新米を買い取る資金が不足して大変苦労しています。それで、女性民友会生協は、組合員から洪城ブルム生協の新米収買資金を募ることにしました。目標借入金は2億ウォン、1年後に4%の利子と有機米プレゼントセットを乗せて組合員に戻します。又、有機米薬酒を開発して秋夕の土産として販売しています。

<http://www.minwoocoop.or.kr/bbs/>

#### **生活材委員の生産地紀行に行ってきました**

9月9日～10日、生活材の取り扱い審査と選定を行う生活材委員36名は、慶尚北道尚州の果樹生産者と加工食品メーカー（ケチャップ・カレー生産）を訪ねる生産地紀行に行ってきました。今回の紀行で今年の収穫状況や産地の現況の説明を受け、お互いの意見交換を行いました。

#### **【生協全国連合会 <http://www.co-op.or.kr/>】**

##### **ワーカーズコレクティブ懇談会を開催しました**

生協全国連合会は日本生活クラブ生協と2005年から交流を推進してきましたが、今年8月31日には、生活クラブ生協の訪問団を交えてワーカーズコレクティブ懇談会を開きました。今回の懇談会には、日本ワーカーズコレクティブネットワークの藤木千草氏が参加して日本の現況と経験について意見交換を行いました。

[http://www.co-op.or.kr/file/kong.htm?sel\\_mode=view&gotopage=1&wh=kong&sel\\_key=&key=&sno=149](http://www.co-op.or.kr/file/kong.htm?sel_mode=view&gotopage=1&wh=kong&sel_key=&key=&sno=149)

##### **生協ハムを開発、生協共同のブランドを確立します**

生協全国連合会は、京畿道I Pork営農組合と連携して生協ハムを開発しました。生協ハムは、100%無抗生剤豚肉と有機農産物を利用したもので、「安全・安心・自然との相生」をコンセプトにしています。 <http://www.co-op.or.kr/data/coopnews2.htm?wh=coop&sno=100>

#### **【ハンサルリム <http://www.hansalim.or.kr/>】**

##### **「ハンサルリム歴史物語 - 都市と農村から広がった小さな共同体の力」を連載しています**

2006年は、ハンサルリム運動が始まってから20周年となります。それでハンサルリムでは、朴オ一会長から聞くハンサルリム歴史物語を毎月の機関誌に連載しています。9回目となる9月号には1986年ハンサルリム農産の創立以後から1998年、「ハンサルリム共同体消費者協同組合」を設立する経緯が紹介されました。共同体という言葉が名称に入るにはかなりの議論があったものの、都市と農村は互いを生かし、共に生きる存在という自覚をハンサルリムの基本精神とするためでした。1986年ハンサルリム農産が設立されたときは、会員70名、70万ウォンの出資金だったのが、1988年消費者協同組合が設立された時は、組合員521名、供給高1億1千万ウォン、1989年は1,901名、供給高5億3千万ウォン、1990年には3,473名、供給高13億3千万ウォンと、目を張る広がりを見せました。 <http://www.hansalim.or.kr/zin/>

##### **ハンサルリムが共にした第724回水曜デモ・清溪川広場でのウリサルキャンペーン開催**

毎週水曜日、日本大使館の前では、15年間続けられている日本軍の従軍慰安婦だったハルモニ

たちの水曜デモが行われます。8月30日、第724回水曜デモには、ハンサルリムソウル支部組合員が参加し、日本政府の責任ある対応と覚醒を促すデモを行いました。デモを続けているハルモニたちは80歳に近づいており、世を去る人が増えています。

なお、9月2日には「ウリサル、ウリが食べましょう！」という国内産米消費拡大キャンペーンを清溪川広場で開催しました。約200人のハンサルリムメンバーが参加したこのキャンペーンでハンサルリム参加者は主婦、農民に扮装して署名運動と街頭行進を行いました。

<http://www.hansalim.or.kr/zin/>

#### **SBS「環境スペシャル」に女性の内分泌障害物質回避献立を提供しました**

韓国の3大テレビ放送局の一つであるSBSのドキュ番組「環境スペシャル」では、9月10日、「環境ホルモンの襲撃」という題名で女兒の性早熟症、内分泌障害で苦しむ子どもたちを取材して全国的に大きな反響を起こしました。この番組の取材中の3ヶ月間、激しい生理通に苦しむ少女たちの生活環境と食べ物環境を調べてからハンサルリムの提供する献立の食材料を使って食事生活をした3人の少女たちの症状が改善されたことが又大変反響を呼び、ハンサルリムはその献立と食事療法を紹介しています。 <http://www.hansalim.or.kr/>

#### **【編集後記】**

稲刈りの時期、9月下旬に新潟に行ってきました。東京に滞在している私の目にも蒲原平野や五頭山麓に広がる笹神の田んぼが大変美しく、豊かに見えました。新潟を初めて訪問する同行者たちもみんな「水と空気がきれい」、「米が美味しい」、「地平線や信濃川が印象的」と二口同声を發しました。ある人からも自分が出会った中央アジアの人たちも日本に来るとご飯の美味しさや緑に驚くという話を聞いたことがあります。新潟に住んでいる人たちには当たり前かもしれませんが、世界でこのように美しく豊かで、美味しいご飯のある環境は稀であることを感じて欲しいと思いました。このような環境は代えられるものだろうか？仮に韓米FTA協商が締結されて、韓国のIT・造船・鉄鋼・自動車産業が世界から巨大な富を得てその利益を社会へ還元して貧困退治事業、緑化事業、文化、公共事業を行うことができれば地域の文化・環境は守れるものだろうか？今の政権の座について韓米FTA協商を進める昔の民主化運動のリーダーたちに新潟の自然と農業を見せたいという気持ちになります。このように素朴な感想を述べると、韓米FTA協商推進論者たちは、まずは「富国強兵」。130年前世界に扉を閉じて近代化に遅れ、日本の植民地になった過去の繰り返しになってはいけないと力説するばかり。10月24日~27日、済州道新羅ホテルで開催される韓米FTA協商第4回会議。韓国生協連合会は、100名のキャンペーン団を派遣し、われらの意思を伝える計画です。

(文責及びお問い合わせ：韓国生協連合会 国際チーム、金亨美、[chleekim@yahoo.co.kr](mailto:chleekim@yahoo.co.kr))